

# よりそう

Side by Side



第51号

編集責任 進谷

編集担当者 進谷

## 一人ひとりに

坊主頭で作務衣を着た西洋人は、まごころネットで嫌でも目立ちました。

ロフ天空（てんくう）さん。米フロリダ州出身で、曹洞宗のお坊さんです。春と秋は長野県飯山市の常福寺で、夏と冬は米オレゴン州ポートランド市で過ごし、同市にあるチベット仏教系の Maitripa College 大学院に在学中。ホスピスの宗教カウンセラーになる資格の取得を目指しています。

キリスト教の家庭に生まれた天空さん、これまでうんざりするほど聞かれているでしょうけれど、やはり聞いてしまいます。「なぜ仏教に魅かれたのですか？」

天空さんが初めて仏教に触れたのは、ノースカロライナ州にある Davidson College 在学中の 1990 年代はじめ、宗教学のクラスを履修したとき。「キリスト教は神や聖書を信じなさいというけれど、仏教は個人が真実を見つける（悟りを求める）ところに魅かれました」と語りました。その頃、チベットのお坊さんのお経を聞いたときは「鳥肌が立った」そうです。

1996 年から 3 年間、英語指導で大分県佐伯市に滞在。「本当は京都に行きたかった」そうですが、大分滞在中、近くの寺でアメリカ人のお坊さんから英語で禅について教わり、そのお坊さんの日本人の先輩と出会いました。その先輩こそ、天空さんの現在の師匠だそうです。

天空さんは 2006 年、盛岡市の観音寺で出家。師匠の師匠は花巻市在住など、岩手県と縁が深いこともあって、まごころネットに参加しました。雨天日の現場バスツアーから帰ったとき、「とても悲しくなった」そうです。“被災地”はとてつもなく大きく、自分にはどうにもならない……。しかし、その後、被災者一人ひとりと会って、自分でも手助けができると感じたそうです。ふれあい隊に参加したときは、「タッピングタッチで愛をあげた」と語りました。

お話をしている間、仏のような微笑を絶やさなかった天空さん。仏教について「言葉で語るのはむずかしい」と何度も言いましたが、発するオーラがすべてを物語っていました。



おせらマラン♪  
いすカバーを作ってくれた方がいます。感謝です！

お知らせ & 注意事項  
和室は正午から午後5時30分までなら、男性も使用できるようになりました  
荷物はコンパクトにまとめましょう

7/2 (土) 天気 曇

気温 18℃ ~ 26℃

降水確率 0%

※月曜・木曜は休刊日になります。

※7/2(土)ボランティアミーティングはPM5:30~@体育館

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

7/1(金)の宿泊:131人, 活動:110人